

令和3年度 ハンズオン支援の事例

四日市地域

プラスワン（鈴鹿市）

津地域

町屋百菜合同会社（津市）

松阪地域

ゆったり庵シスターズ（松阪市）

伊賀地域

長坂地域資源保全プロジェクト（名張市）

尾鷲地域

向井地区フルーツ振興会（尾鷲市）

プラスワン (鈴鹿市)

プラスワンは、鈴鹿市の植木生産農家と資材販売業者からなる団体で、全国的にも有数の植木産地である鈴鹿地域の産地維持・発展を図るために活動を始めました。

全国の植木産地とのネットワークを生かし、情報交換、勉強会などを開催する中で、新しい生産方式や革新的な新品種への取組などの情報を積極的に産地へフィードバックすることで、産地全体の底上げを図り、植木産地としてのブランド確立を目指しています。



スタートアップの取組

三重県の植木産地を緑化関係者に認識してもらうためには、消費者ニーズに合わせた、他産地にはない商品づくりが必要です。

そこで、45cm鉢という他にはあまり見られない商品づくりと、生産樹種が多いという強みを活かし、他県で生産されていない樹種の大鉢生産を積極的に行い、園芸緑化に応え得るオンラインワンの商品を提案していきます。



大鉢生産 (白丁花、ボックスウッド)



大鉢生産 (オタフクナンテン)



大鉢生産 (オオカナメモチ)



大鉢生産 (ニューサイラン)

これからの取組予定

プラスワンの目的である三重県の植木産地のより一層の発展のため、多種樹の大鉢生産を行い、全国の緑化関係者等にPRし、需要増加に繋げるための取組を行っていきたくと考えています。

- ① 大鉢生産を行い、他産地にはない新たな魅力づくりを行います。
- ② SNSを活用し、植木の新たな見せ方を示し、新規需要の創造を図ります。
- ③ 市場が実施するトレードフェアなどへ積極的に参加し、PRを行い、需要増加に繋がります。

町屋百菜合同会社 (津市)

伊勢湾沿いにある、三重大学に隣接した砂地の農地が広がっている地域で、以前は露地野菜が盛んに栽培されていましたが、近年は耕作放棄地が目立つようになってきました。

そこで、町屋百菜では耕作放棄地の再生など、地域が元気になる取組を行っています。



スタートアップの取組

町屋百菜では、耕作放棄地となっていた畑を令和2年に再生し、サツマイモの作付けを始めました。生鮮品としての出荷だけではなく、加工品にも取り組むこととし、まずは芋焼酎の製造を始めました。製造は、佐世保市の梅ヶ枝酒造に委託しています。

香ばしい芋の香りとしゅっきりとした飲み口の中に、芋焼酎らしい甘味が感じられる本格焼酎に仕上がっています。

販売力の向上に向けて、店舗で手に取ってもらいやすいよう、ボトルネックポップをデザイン・作成しました。



サツマイモ畑 (6月)



サツマイモの収穫 (10月)



芋焼酎「百菜」



ポップ



津市の前葉市長を表敬訪問

これからの取組予定

芋焼酎以外にも芋けんぴ、大学芋、干し芋などの加工品の製造を検討します。また、多くの人々に知ってもらえるよう芋焼酎「百菜」の販路開拓も進めます。

併せて、遊休農地のさらなる活用に向け、サツマイモ以外の野菜（ピーマンなど）も作付けしています。なお、ボランティアとして児童養護施設へ規格外のサツマイモやピーマンなどを提供していきます。

今後も耕作放棄地が減少し、地域が元気になるような活動を継続していきます。

ゆったり庵シスターズ (松阪市)

ゆったり庵シスターズは、松阪市嬉野薬王寺・豊地地域で活動する団体です。子どもを中心に地域の歴史や文化、伝統料理などに触れるきっかけをつくり、地域愛を育む活動を展開してきました。

今後は、地域活動や地域資源の継承だけでなく、地域農業の持続性が喫緊課題であると考え、子育て世代の住民をはじめ、多くの地域住民に農業をより身近なものとして感じてもらえる体験を実施していくことで、農業が持続的かつさらなる発展をしていくことを目指します。



スタートアップの取組

農業体験に参加する親子連れや小学生が、安全に作業できるよう、休憩場所が必要です。

そこで、様々な場所に簡単に運べ、設営できるワンタッチテントを導入し、休憩場所に活用しました。また、朝市などの直売にも活用しました。



昔の文化体験教育



田んぼアート



朝市



田んぼアートでの収穫体験

これからの取組予定

- ① 小学校と連携した昔の文化体験教育の実施
- ② 豊地まちづくり協議会と連携した季節料理づくりや老人会活動の支援
- ③ 地元イベントへの出店、定期的な朝市の開催
- ④ 小学校やまちづくり協議会と連携した田んぼアートとその収穫体験の実施
- ⑤ 朝市に隣接するほ場や近隣のほ場を利用した体験農園の開設

長坂地域資源保全プロジェクト (名張市)

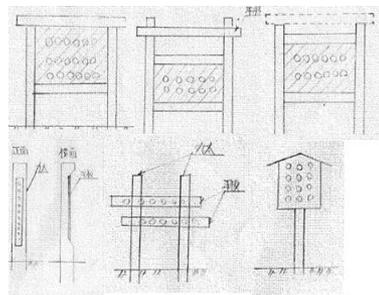
長坂地域資源保全プロジェクトは、機械作業が困難な農地をはじめとした地域資源の保全の一環として、農地や地域資源の新しい活用（体験農園など）により、長坂地域のコンセプトである「地域の農地は地域で守る」の持続に繋げる活動をしています。また、赤目四十八滝キャンプ場と連携し、キャンプ場の宿泊者に長坂地域の自然を楽しんでもらうため、キャンプ場では行えない農作物の収穫・加工体験や農山村ならではの体験ができる場所の提供や技術の伝承を行っています。



スタートアップの取組

赤目四十八滝キャンプ場の宿泊者を対象に農業体験を行い、その後長坂地域を徒歩で周遊しながら、長坂地域の良さを感じてもらうため、ワークショップによる専門家からのアドバイスをもとに、案内看板を作成し、設置しました。

体験農園は自然に囲まれており、都会では味わうことのできない様々な体験ができることから、その体験を思い出として写真に残してもらう際に、農園の象徴となるような看板をデザインしました。



ワークショップ



看板

これからの取組予定

- ① 赤目四十八滝キャンプ場と連携し、魅力的な農業体験を実施していきます。
- ② 農業体験後に長坂地域を徒歩で周遊し、長坂地域の魅力を感じてもらえるよう各所への案内看板設置を継続していきます。

多くの人々に長坂地域の魅力を体感していただくとともに、地域住民にも活動をPRしていくことで、活動に共感してくれた人がプロジェクトの構成員になってくれることも期待しています。

向井地区フルーツ振興会（尾鷲市）

尾鷲市では、農業就業人口のうち65歳以上の占める割合が90%以上と非常に高く、担い手不足が深刻となっています。さらに、農産物価格の低迷や後継者不足など問題が山積しており、農業生産の所得向上による担い手の確保や後継者の育成確保が喫緊の課題となっています。

この課題に対して、尾鷲ヤードサービス株式会社が中心となり組織されたのが向井地区フルーツ振興会で、向井地区の自然や風景を守りながら、高収益作物である新規品目（ブルーベリー、オリーブ、アボカド、フィンガーライムなど）の生産や滞在型体験農園の実施、伝統野菜の加工品販売を行っています。



スタートアップの取組

地元の特産品を生かした郷土料理の新商品開発と販路拡大を目的に、「森と畑を楽しむキャンプエリア」構想のブラッシュアップと題し、専門家に講演を依頼し、販売方法についてのアドバイスやキャンプエリア構想への具体的な提案をいただきました。

また、尾鷲市の「みんなの森プロジェクト」における脱炭素化の機運と連動し、地域住民とのワークショップを通じた「森と畑を楽しむキャンプエリア」構想や、郷土料理の商品開発などの向井地区の活動計画を策定するため、脱炭素化に取り組んでいる事業者から専門的見地のアドバイスをいただきました。



尾鷲ヤードサービス株式会社
（おわせむかい農園）



キャンプの試験実施



地域活動計画の策定への
専門的アドバイス

これからの取組予定

各専門家からのアドバイスや提案をもとに、新商品の開発や販路拡大に取り組むとともに、農業体験を合わせたキャンプエリアの構想の実現、これらの内容を含めて、向井地区の住民の方々と一緒に取り組む活動計画を策定していきます。

これらの活動を通して、地域農業の活性化と向井地区の魅力発信による集客力向上に努めます。

地域活性化プランに関する問合せ先

問合せ先	電話番号
三重県 農林水産部 担い手支援課	059-224-2016

地域機関の窓口	電話番号
桑名農政事務所 農政室 地域農政課	0594-24-7421
四日市農林事務所 農政室 地域農政課	059-352-0629
津農林水産事務所 農政室 地域農政課	059-223-5102
松阪農林事務所 農政室 地域農政課	0598-50-0515
伊勢農林水産事務所 農政室 地域農政課	0596-27-5164
伊賀農林事務所 農政室 地域農政課	0595-24-8108
尾鷲農林水産事務所 農政・農村基盤室 地域農政課	0597-23-3498
熊野農林事務所 農政室 地域農政課	0597-89-6122